

COVID19のワクチンも国民の7割以上が2回の接種を終わり、早くも年の終わりの月に近づきつつありますが、会員の皆様方におかれましては、つつがなくお過ごしのこととお伺い申し上げます。また、いつもクラブの活動をお支え頂き、感謝いたします。

今年の夏は梅雨がぶり返したのかと思うくらい、よく雨が降りましたね。しかもただの雨ではなく、しばしば豪雨となり、各地に洪水や土砂崩れが起きました。その中でも忘れられない衝撃的なニュースは熱海の土砂災害でした。もともと急な山の斜面に盛り土をすること自体が理解不能であります、許可を出した熱海市と静岡県は責任のなすり合いのような会見をしていたのも不可解でした。(参考:「熱海土石流」でネット検索)

SDGsにも含まれている二酸化炭素吸収や酸素の生成や貯水機能のある森林は、みんなの大切な自然財産なので遺して欲しいという人たちの権利と、個人の財産としての山の持ち主の権利も尊重されて、うまくお互いにWIN・WINの関係になれるような法律や政策ができる国であってほしいと私は願っています。

さて、地球温暖化を警告されるようになってから、30年以上経ちますが、今日に到るまで大切な森林は減る一方です。紙を作る為に熱帯雨林を伐採してきた事を少し反省し始めたと思ったら、今度はパーム油(やし油)を取る為に熱帯雨林を伐採して広大なプランテーションを作り始め、現在もその勢いは止どまるところをしりません。行き場を失ったオランウータンや象の家族たちの姿がテレビやネットでニュース配信されているのをご覧になられた方もあるかと存じます。その上最近外国で大規模な山火事がしばしば起こっています、洪水も山火事も全て地球温暖化によるものだとしたら、せめて各国は高温に強い樹種の森林を守り増やす事で、なんとか対抗してゆかなければならないのではないのでしょうか？特に国土の広いお国は大いに森林を増やしていただきたいものと思います。

最後に、最近読んで感銘を受けた本のご紹介をしたいと思います。:「樹木たちの知られざる生活—森林管理官が聴いた森の声」ペーター・ヴォールヘーベン著、長谷川圭訳 早川書房。ご希望の方にはクラブから貸し出し図書いたします。緑の環境クラブは下半期も元気よく活動します。上半期の活動詳細は以下の記事をご覧ください。 代表世話人 北田香菜子

令和3年度 上期の活動報告

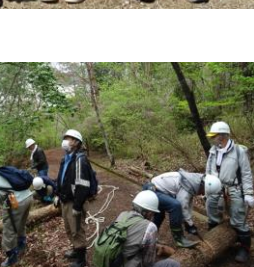
★里山ふれあい森づくり作業 作業日数 15日 作業延人数 124名 (4/1~9/30)

5月はコロナ感染防止の為、7月・8月は猛暑の為、整備作業は実施していません

①4月10日(土) 尼崎信用金庫三田支店の皆さんと里山整備作業です



②4月14日(水) コロナ禍の中、里山整備に14名が集まり、枯松の伐採処理に注力



③里山整備作業中の”ほっと一息”の休憩タイムです 4月21日 6月9日



★有馬富士森林公園の花 ギンリョウソウ(4月) タチツボスミレ(4月) ナガバタツボスミレ(4月)



★里山体験学習支援

①6月22日(火) 県立有馬高校公開セミナー支援で 里山整備体験活動を実施(生徒19名:先生・スタッフ7名)



ササユリ(6月)



ハギ(9月)

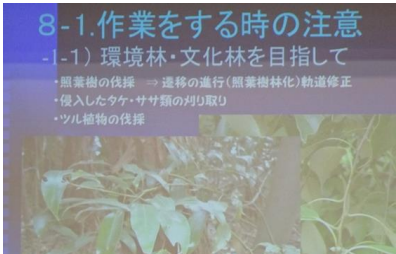


アキノギンリョウソウ(9月)



★その他の活動

①9月1日(水) 安全講習会(17名参加) 講師:ひょうご森の倶楽部理事 福田正氏



②9月1日(水) 9月度世話人会(7名)



★コロナ感染防止の為、例年通りには実施出来なかったイベント

①4月の春のありまふじフェスティバル

②春の山菜を食する会

③4月の第23回定例総会は郵送で総会議題の審議・議決に変更 結果:承認

令和3年度下期の活動予定

- 10月以降 里山保全活動 :有馬富士森林公園及び周辺エリアでの 森林整備等 毎週水・土曜日に活動
- 10月2日・23日 北摂里山大学支援
- 10月9日 キノコ観察会:「有馬富士夢プログラム」として開催
- 11月~12月に3回 松が丘小学校里山体験学習支援
- 11月~12月に2回 富士小学校自然学習支援 「水のおはなし」「森と樹木のおはなし」
- 2月 椎茸菌打ち体験会